

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成10年5月11日

第6報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1400	◎	
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	5		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	370		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	480	○	
(珪) <i>Navicula</i> sp.	5		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	5		
(渦) <i>Peridinium berlinense</i>	10		
(渦) <i>Peridinium penardiforme</i>	5		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	260		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	15		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	85		◎
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	13		○
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1405	52.6	18.6
(珪) 珪藻綱	860	32.2	15.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	15	0.6	0.4
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	10.5	4.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	113	4.2	61.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2673	総体積 (μm^3)	1.94E+06
種類数	13		

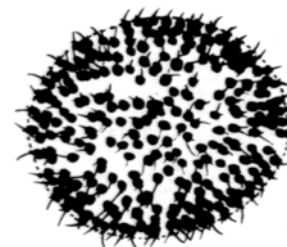
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
黄緑藻綱	<i>Uroglena americana</i>	1400

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	480

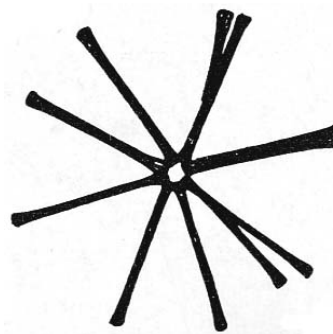
植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

植物プランクトン第2優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。